



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社スズケン
コード番号 9987 URL <https://www.suzuken.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅野 茂
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 長縄 淳
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名札
TEL 052 - 961- 2331

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|-----|-------|------|-------|-----|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 573,644 | 3.6 | 4,055 | 14.2 | 4,982 | 9.3 | 3,342 | 24.6 |
| 2023年3月期第1四半期 | 553,754 | | 3,550 | | 4,558 | | 2,681 | |

(注)包括利益 2024年3月期第1四半期 9,461百万円 (115.0%) 2023年3月期第1四半期 4,400百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第1四半期 | 40.40 | |
| 2023年3月期第1四半期 | 30.49 | |

(注)2023年3月期第1四半期の増減率については、前第1四半期連結会計期間より表示方法の変更および会計上の見積りの変更を行っているため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 1,190,063 | 418,053 | 35.1 |
| 2023年3月期 | 1,146,097 | 411,525 | 35.9 |

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 417,744百万円 2023年3月期 411,209百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2023年3月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | | 36.00 | | 36.00 | 72.00 |
| 2024年3月期(予想) | | 40.00 | | 40.00 | 80.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-----------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,099,700 | 3.4 | 7,000 | 53.0 | 8,500 | 49.2 | 5,400 | 50.2 | 65.27 |
| 通期 | 2,231,900 | 3.6 | 17,000 | 47.9 | 19,900 | 45.3 | 13,000 | 36.1 | 157.13 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期1Q | 82,831,904 株 | 2023年3月期 | 82,831,904 株 |
| 期末自己株式数 | 2024年3月期1Q | 100,094 株 | 2023年3月期 | 100,000 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年3月期1Q | 82,731,860 株 | 2023年3月期1Q | 87,941,610 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症へ移行するなど、感染防止対策と社会経済活動との両立を図る動きが進められております。一方、依然としてウクライナ情勢の終息時期が見通せないなか、外国為替相場の変動、電力・エネルギー価格や原材料価格の高騰による物価高が一層進展するなど、国内景気や企業収益については先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおける新型コロナウイルス感染症対応については、お得意さまや当社グループ社員の健康に配慮したうえで、感染予防対策に万全を期してまいりました。また、新型コロナウイルスワクチン流通に関しては、47都道府県すべてで地域担当卸の選定を受け、各自治体単位で流通を担っております。今後も引き続き医薬品等の安定供給に取り組み、企業の社会的責任を果たしてまいります。

当社グループは、今年度より2026年3月期を最終年度とする新たな中期経営計画を策定しており、本中計の実践を通じて、グループが「One Team」となって健康創造事業体への変革を進め、変化するヘルスケアエコシステムに新たな「解」と「希望」を送り続ける存在として新たな価値を創出し続け、さらなる企業価値の向上と社会課題の解決に貢献してまいります。

<2024年3月期～2026年3月期 中期経営計画スローガン>

For your next heartbeat ～未来に向けた鼓動を創ろう～

<スズケングループが生み出す3つの“鼓動”>

- ・Beat1: 地域住民の健康を守る
外部企業との連携を拡大し、地域医療・自治体に対するサービスパッケージを確立する
- ・Beat2: 需給調整機能で社会の無駄を削減
効率的かつ安定的な流通機能を構築することで、医薬品ロスを低減し、安定供給を支える
- ・Beat3: 未来価値の創生できる人材を育成
自ら社会に新しいインパクトを提供することができる、創造的なリーダーシップ人材を育成する

本中計期間は、10年後(2032年)の当社創立100周年に向け、「既存事業の変革」と「新たな成長事業の準備」を主なテーマと位置づけており、「既存事業の変革」においては、サステナブルな社会インフラ基盤の確立に向けてヘルスケア流通改革を実践し、生産性を上げることで一層の利益体質へと転換してまいります。

また、「新たな成長事業の準備」においては、日本の新たなヘルスケアエコシステムの創生に向けて、オープンイノベーションによる発想で協業企業とともに新たな価値創造を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間における、「既存事業の変革」については、売上・シェアに連動する収益構造が変化しており、多様な企業との協業を通じ、希少疾病薬や再生医療等製品を含むスペシャリティ医薬品の流通モデルの強化やMS(※1)の活動による新たな収益モデル構築に取り組んでおります。

具体的には、医療流通プラットフォームの構築に向けて、スペシャリティ医薬品トレーサビリティシステムである「キュービックス」を全国の地域中核病院などへ導入し、医薬品の流通品質向上に取り組んでおり、スペシャリティ医薬品流通において、国内への新規参入や新製品の上市を目指す製薬企業のご要望にお応えするとともに、新薬を待ち望む患者さまに確実に医薬品をお届けできる流通基盤の強化に努めております。また、医薬品流通のリアルタイムの可視化と最適化の取り組みとして、医薬品の出荷調整による医療機関や保険薬局の業務負荷軽減や当社の生産性向上に寄与する仕組みの開発・導入を進め、発注した医薬品の納期や代替品の在庫などをインターネット上で確認できる「納品予定お知らせサービス」を本年5月より導入し、今後は需要予測による発注サポート、配送ルート自動作成などの仕組みを順次導入してまいります。

「新たな成長事業の準備」については、既に提携している企業とともに、新たな流通チャネル構築や、協業によるデジタルヘルス事業の構築を加速させ、革新的なサービスや情報ビジネスを推進し、製薬企業や医療機関、保険薬局、患者さまへの新たな価値の提供に取り組んでおります。

具体的には、医療・介護従事者向けのポータルサイトである「コラボポータル」のサービス提供を開始し、当社グループが保有するさまざまなサービスや情報の発信に加え、お得意さまと当社グループ、製薬企業、さらには多職種・専門スタッフをつなぐ機能、さまざまな協業企業のデジタルヘルスサービスを統合的にお届けする機能などを搭載し、医療・介護現場へデジタルヘルスサービスを安心・安全にご利用いただける環境づくりに取り組んでおります。2023年4月のサービス開始以降、既に約1.5万ID(2023年6月末時点登録数)の利用をいただいております。スピードを上げて更なる拡大に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、医療用医薬品市場が伸長したことに加え、スペシャリティ医薬品等の新薬や新型コロナウイルス感染症治療薬が薬価収載（一般流通）されたことに伴い、売上高計上となったことなどが寄与いたしました。利益面では、増収効果に加えて、引き続き適正利益の獲得に取り組んでまいりました。その結果、売上高は5,736億44百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は40億55百万円（前年同期比14.2%増）、経常利益は49億82百万円（前年同期比9.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億42百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

※1 MS (Marketing Specialist)

：医薬品卸売業の営業担当者のこと。

医療機関・保険薬局等を訪問し、医薬品の紹介、商談、情報の提供や収集を行います。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法の見直しを実施し、従来「医薬品卸売事業」「医薬品製造事業」「保険薬局事業」「医療関連サービス等事業」の4セグメントでありましたが、新たに「医薬品卸売事業」「ヘルスケア製品開発事業」「地域医療介護支援事業」「医療関連サービス等事業」の4セグメントとしております。

このため、前第1四半期連結累計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

セグメント変更の詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

(単位：百万円未満切捨て)

| セグメントの名称 | | 2023年3月期 第1四半期連結累計期間 | 2024年3月期 第1四半期連結累計期間 | 増減率(%) |
|-------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|--------|
| 医薬品卸売事業 | 売上高 | 533,454 | 553,440 | 3.7 |
| | 営業利益 | 2,413 | 3,349 | 38.8 |
| ヘルスケア製品開発事業 | 売上高 | 11,783 | 12,799 | 8.6 |
| | 営業利益 | 613 | 521 | △15.1 |
| 地域医療介護支援事業 | 売上高 | 24,022 | 23,875 | △0.6 |
| | 営業利益 又は 営業損失 (△) | 198 | △38 | — |
| 医療関連サービス等事業 | 売上高 | 49,665 | 63,799 | 28.5 |
| | 営業利益 | 242 | 213 | △11.7 |

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

医療用医薬品市場は、薬価改定の影響などがあったものの、抗悪性腫瘍剤の市場拡大やスペシャリティ医薬品等の新薬や新型コロナウイルス感染症治療薬が薬価収載（一般流通）されたことに伴い、売上高計上となったことなどが寄与したことにより、伸長したものと推測しております。

そのようななか、売上高は、特定メーカーの取引見直しの影響があったものの、スペシャリティ医薬品をはじめとする新薬や新型コロナウイルス感染症治療薬の販売増加などにより5,534億40百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は、増収効果に加え、引き続き適正利益の獲得に取り組んだことなどにより33億49百万円（前年同期比38.8%増）となりました。

(ヘルスケア製品開発事業)

売上高は、医療機器・材料製造事業において、2022年10月に実施したグループ内組織再編に伴い、医薬品卸売事業セグメントから売上高の移動が発生したことや、医薬品製造事業における二次性副甲状腺機能亢進症治療薬ウパシタ静注透析用シリンジの寄与などにより増収となりました。

営業利益は、営業活動の正常化に伴う営業費増などにより、減益となりました。

これらの結果、売上高は127億99百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は5億21百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

(地域医療介護支援事業)

売上高は、主に保険薬局事業において、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症へ移行したことに伴う受診抑制の緩和などに伴い処方箋受付枚数は増加傾向にあるものの、調剤報酬改定（地域支援体制加算の経過措置終了）や薬価改定の影響などにより、減収となりました。

営業利益は、減収の影響などにより、営業損失となりました。

これらの結果、売上高は238億75百万円（前年同期比0.6%減）、営業損失は38百万円（前年同期は1億98百万円の営業利益）となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、スペシャリティ医薬品流通事業の受託が増加したことなどにより増収となりました。

営業利益は、デジタルビジネスの事業化に向けた先行投資に係る費用計上等により減益となりました。

これらの結果、売上高は637億99百万円（前年同期比28.5%増）、営業利益は2億13百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ439億65百万円増加し1兆1,900億63百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ344億34百万円増加いたしました。これは主に、有価証券が63億77百万円減少したものの、現金及び預金が51億92百万円、受取手形及び売掛金が287億93百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ95億31百万円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産が89億33百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ374億37百万円増加し7,720億9百万円となりました。これは主に、未払法人税等が52億37百万円、賞与引当金が52億65百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が226億57百万円、流動負債のその他が225億50百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ65億27百万円増加し4,180億53百万円となりました。これは主に、剰余金の配当の支払が29億78百万円あったものの、その他有価証券評価差額金の増加が62億23百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益を33億42百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 109,026 | 114,219 |
| 受取手形及び売掛金 | 521,028 | 549,822 |
| 有価証券 | 83,677 | 77,299 |
| 商品及び製品 | 133,154 | 139,172 |
| 仕掛品 | 1,708 | 1,656 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,506 | 3,621 |
| その他 | 26,279 | 27,980 |
| 貸倒引当金 | △1,211 | △1,167 |
| 流動資産合計 | 878,169 | 912,603 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 124,827 | 124,275 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 965 | 919 |
| その他 | 9,999 | 11,194 |
| 無形固定資産合計 | 10,965 | 12,114 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 93,602 | 102,481 |
| その他 | 39,398 | 39,451 |
| 貸倒引当金 | △865 | △863 |
| 投資その他の資産合計 | 132,135 | 141,069 |
| 固定資産合計 | 267,927 | 277,459 |
| 資産合計 | 1,146,097 | 1,190,063 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 666,515 | 689,172 |
| 未払法人税等 | 6,971 | 1,733 |
| 賞与引当金 | 8,610 | 3,344 |
| 独占禁止法関連損失引当金 | 9,790 | 9,790 |
| その他 | 19,388 | 41,938 |
| 流動負債合計 | 711,274 | 745,979 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 2,323 | 2,300 |
| その他 | 20,973 | 23,729 |
| 固定負債合計 | 23,297 | 26,030 |
| 負債合計 | 734,571 | 772,009 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,546 | 13,546 |
| 資本剰余金 | 32,452 | 32,452 |
| 利益剰余金 | 334,694 | 335,103 |
| 自己株式 | △371 | △371 |
| 株主資本合計 | 380,321 | 380,729 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 33,330 | 39,554 |
| 土地再評価差額金 | △4,724 | △4,769 |
| 為替換算調整勘定 | 1,349 | 1,347 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 932 | 881 |
| その他の包括利益累計額合計 | 30,887 | 37,014 |
| 非支配株主持分 | 316 | 309 |
| 純資産合計 | 411,525 | 418,053 |
| 負債純資産合計 | 1,146,097 | 1,190,063 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 553,754 | 573,644 |
| 売上原価 | 514,816 | 533,007 |
| 売上総利益 | 38,937 | 40,637 |
| 販売費及び一般管理費 | 35,387 | 36,581 |
| 営業利益 | 3,550 | 4,055 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 28 | 44 |
| 受取配当金 | 478 | 530 |
| 持分法による投資利益 | 294 | 173 |
| 不動産賃貸料 | 71 | 72 |
| その他 | 256 | 237 |
| 営業外収益合計 | 1,129 | 1,058 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11 | 11 |
| 不動産賃貸費用 | 53 | 58 |
| 消費税差額 | 0 | 36 |
| その他 | 56 | 25 |
| 営業外費用合計 | 121 | 132 |
| 経常利益 | 4,558 | 4,982 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 219 |
| 事業譲渡益 | 21 | — |
| 特別利益合計 | 21 | 219 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 27 | 114 |
| 投資有価証券評価損 | 77 | 5 |
| その他 | 1 | 0 |
| 特別損失合計 | 106 | 120 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,473 | 5,080 |
| 法人税等 | 1,798 | 1,745 |
| 四半期純利益 | 2,674 | 3,335 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △6 | △7 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,681 | 3,342 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,674 | 3,335 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,343 | 6,223 |
| 土地再評価差額金 | — | △44 |
| 為替換算調整勘定 | 18 | △0 |
| 退職給付に係る調整額 | △136 | △50 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 500 | △1 |
| その他の包括利益合計 | 1,725 | 6,126 |
| 四半期包括利益 | 4,400 | 9,461 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,407 | 9,469 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △6 | △7 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|-------------|-----------------|----------------|---------------------|---------|
| | 医薬品 卸売事業 | ヘルスケア 製品開発事業 | 地域医療 介護支援事業 | 医療関連 サービス等 事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 519,633 | 3,154 | 24,022 | 6,943 | 553,754 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 13,820 | 8,628 | 0 | 42,721 | 65,171 |
| 計 | 533,454 | 11,783 | 24,022 | 49,665 | 618,925 |
| セグメント利益 | 2,413 | 613 | 198 | 242 | 3,468 |

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 3,468 |
| セグメント間取引消去 | 82 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 3,550 |

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|-------------|-----------------|----------------|---------------------|---------|
| | 医薬品 卸売事業 | ヘルスケア 製品開発事業 | 地域医療 介護支援事業 | 医療関連 サービス等 事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 539,754 | 2,942 | 23,871 | 7,075 | 573,644 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 13,685 | 9,856 | 3 | 56,723 | 80,269 |
| 計 | 553,440 | 12,799 | 23,875 | 63,799 | 653,914 |
| セグメント利益又は損失(△) | 3,349 | 521 | △38 | 213 | 4,045 |

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 4,045 |
| セグメント間取引消去 | 9 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 4,055 |

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、報告セグメントの区分を「医薬品卸売事業」、「医薬品製造事業」、「保険薬局事業」、「医療関連サービス等事業」としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「医薬品卸売事業」、「ヘルスケア製品開発事業」、「地域医療介護支援事業」、「医療関連サービス等事業」に変更することといたしました。

このセグメントの一部変更は、新中期経営計画の3年間に於いて健康創造事業体への転換に向けた基盤づくりのために行うものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。